

竹田理琴乃

ピアノリサイタル

3年シリーズ 第三夜

生と死

向井 響

竹田理琴乃委嘱作品（世界初演）

能登半島によせる子守唄

サン＝サーンス / リスト

死の舞踏 S.555 R.240

スメタナ

ピアノ三重奏曲ト短調 Op.15 他



向井 響
作曲

水谷 晃
ヴァイオリン

ソンジュン・キム
チェロ

2025. **2.14** (金)

19:00 開演 | 18:30 開場

金沢市アートホール

一般 3,000円

高校生以下 1,000円

〈チケットお取り扱い〉

石川県立音楽堂チケットボックス

TEL 076-232-8632

主催：ムジーク・ブルーメンクランツ

後援：石川県ピアノ協会

(公財)石川県音楽文化振興事業団

(一財)石川県芸術文化協会

北國新聞社・テレビ金沢・MRO北陸放送

協力：(株)開進堂楽器

(株)河合楽器製作所金沢店

島村楽器(株)金沢フォーラス店

助成：(公財)いしかわ県民文化振興基金



Rikono Takemura

Profile



竹田 理琴乃 Rikono Takeda

ポーランド国立ショパン音楽大学を首席で卒業。京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程を首席で修了、大学院市長賞受賞。

第82回日本音楽コンクール第3位。第10回コニシ「若きショパン演奏家」コンクール（ポーランド）第1位。第3回コインブラ世界ピアノ・コンクール（ポルトガル）第3位。第2回いしかわ国際ピアノコンクール大学・一般の部金賞、聴衆賞。第28回宝塚ベガ音楽コンクール第1位、兵庫県知事賞、会場審査員特別賞。第4回Shigeru Kawai国際ピアノコンクール第5位。全日本学生音楽コンクール全国大会第58回小学校の部第1位。第62回中学校の部第3位。第64回高校の部第1位。第7回北陸新人登竜門コンサートのオーディションにて優秀者に選ばれ井上道義氏指揮、オーケストラ・アンサンブル金沢と共演。

ショパン国際ピアノコンクールin ASIAコンチェルトB部門金賞、依田巽賞。コンチェルトC部門銀賞。

2022年第25回松方ホール音楽賞、2024年第18回岩城宏之音楽賞を受賞など他多数のコンクールで入賞。

第17回、第18回ショパン国際ピアノコンクール（ポーランド）出場。

いしかわミュージック・アカデミーにて奨励賞、IMA音楽賞。第14回ミュージック・アカデミーinみやぎ2021にて優秀賞。

12歳で（公財）石川県音楽文化振興事業団主催による初リサイタル以降、故中村絃子氏の推薦により佐川文庫にて若手シリーズリサイタル他、迎賓館赤坂離宮エラールピアノ、ショパン・フェスティバルin表参道、いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭、宮崎国際音楽祭など数多く出演。NHK-FM「リサイタル・パッシオ」に出演。



向井 響 Hibiki Mukai 「能登半島によせる子守唄」作曲

これまでにローソン・メイ作曲賞（イギリス）、マリン・ゴレミノフ国際作曲賞（ソフィア）を受賞。第6回マーティン・ギヴォル国際作曲コンクール（テルアビブ）第1位。ORDA-2019作曲部門（アムステルダム）第1位。2018年ストラズブル現代音楽祭（フランス）にて、最優秀賞（グランプリ）。第84回日本音楽コンクール作曲部門第1位。併せて岩谷賞、明治安田賞、三善賞を受賞。第33回ACL青年作曲賞（マニラ）の日本代表作品に選出され、第1位受賞。第8回ユルゲンソン国際作曲コンクール（モスクワ）ディプロマ入賞。

桐朋学園大学音楽学部作曲科卒業、同研究科修了。2014-15年、明治安田生命クオリティオブライフ奨学生。2016年よりヤマハ音楽支援制度留学奨学生として、ハーグ王立音楽院ソロジー研究科修士課程に留学。2019年同大学院を最優等の成績で修了。2019、20年度ローム・ミュージックファンデーション奨学生。令和3年度文化庁新進芸術家海外研修員（2年）として、ポルトガルに派遣され、現在ポルト大学大学院工学研究科博士（PhD）課程に在籍。

主な作品に、「機械の肌V」（NHK委嘱）、「美少女革命」（カウデアムス国際現代音楽週間 公式招待）、「マグノリアの花」（モスクワ国立電子音響研究所委嘱）、「幽体の鳥」（ウクライナ外務省委嘱）、「人魚姫に別れを告げて」（ストラズブル現代音楽祭委嘱）など。音楽之友社より、ピアノのための「薔あけの明星にI. II. III」（第4回いしかわ国際ピアノコンクール邦人作品課題曲委嘱）が出版されている。



水谷 晃 Akira Mizutani ヴァイオリン

大分市生まれ。桐朋学園大学を首席で卒業。ヴァイオリンを小林健次氏、室内楽を原田幸一郎・毛利伯郎の各氏と東京クワルテットに師事。在学中Verus String Quartetを結成し、第57回ミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門で第三位入賞。

2010年4月より国内最年少のコンサートマスターとして群馬交響楽団コンサートマスターに就任。東京交響楽団を経て、現在、東京都交響楽団コンサートマスターとオーケストラ・アンサンブル金沢客員コンサートマスターを兼任。室内楽奏者として木曾、ゆふいん等、各地の音楽祭にも出演。

母校・桐朋学園大学講師として後進の育成にも取り組んでいる。<https://www.wakako-akira-violin.com/>



ソンジュン・キム Sung-Jun Kim チェロ

韓国・ソウル出身。韓国国立芸術大学卒業。同大学院に学び、ソリスト・ディプロマを取得。

韓国ジュニア室内楽コンクール優勝。韓国音楽協会コンクール第3位入賞（最高位）。2005年ブラハの春国際音楽コンクール弦楽四重奏部門第2位入賞、併せてチェコ資金財団賞、グスタフ・マーラー賞を受賞（全部門最年少）。

これまでにチョン・ミョンファ、パク・サンミン、ジョナサン・スピッツ、ルドヴィート・カンタの各氏に師事。2011年にオーケストラ・アンサンブル金沢のチェロ奏者として入団。現在、副手席代行を務める。リサイタルを開催するなどソロや室内楽奏者としても活動している。2020年に金澤弦楽四重奏団を結成し、ベートーヴェンの全曲演奏に取り組んでいる。